

制御盤設計塾開催！

弊社では、社内教育の取り組みの一環として、人員交流プログラムに続き制御盤設計塾を開講しました。

以下、講義内容の一部をご紹介します。

1. 制御盤の仕様を設定（スタート） お客さんとの打ち合わせを想定しながら、仕様の確認をします。

操作盤 仕様概略

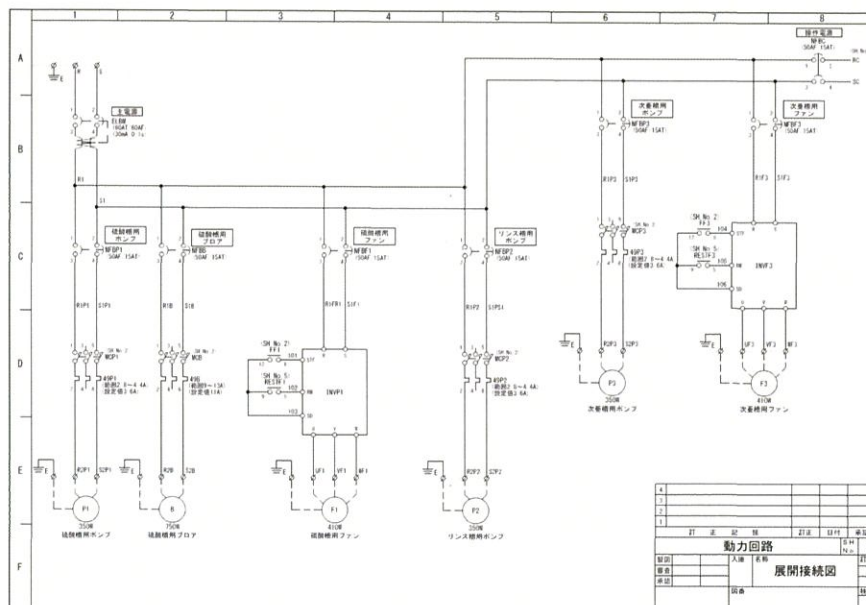
<動作仕様>

- ・①～③用の各機器は単独で 入/切 する。
(漏電ブレーカ配置)

<p>①硫酸槽用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプP1 入/切 ・プロアB 入/切 ・ファンF1 入/切 	<p>②リンス槽用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプP2 入/切 	<p>③次亜槽用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプP3 入/切 ・ファンF3 入/切 ・セータH 入/切
--	--	---

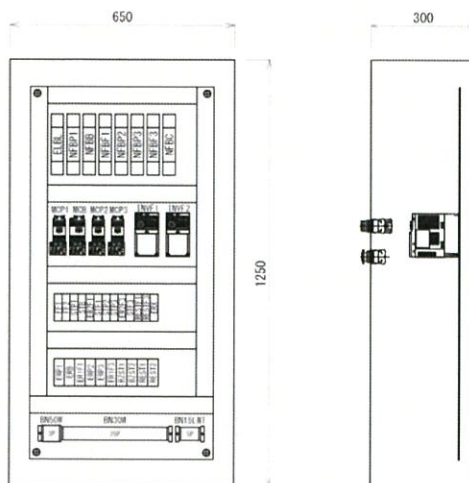
- ・非常ボタン 1), または2) を押下すると①～③を全停止する。
- ・押下した非常ボタンを復帰すると、各機器は入ボタン押下で運転復帰する。

2. 電気図面の作成 仕様をもとに電気回路を考え、図面を作成します。



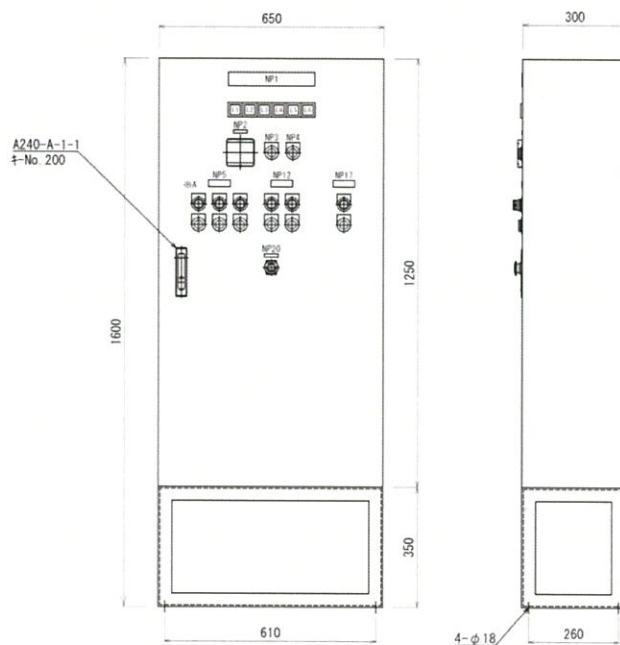
3. 制御盤内の器具配置

電気図面をもとに制御盤内の器具の図面を作成します。



4. 制御盤の外形図の決定

制御盤に必要な大きさがわかりましたので
操作面や取付方もふまえて、制御盤の外形を決定します。



次回は、各自で作った図面をもとに見積もりを行い
設計以外でも業務に関連した内容も行っていきたくて考えております。

成電工業パネル事業部

027-343-5111

担当 田辺